



●令和7年度南丹美術工芸パートナーズクール事業●

南丹教育局では、小学生が高校生の指導を受けて作品を制作することを通して、美術工芸への興味・関心を高める「南丹美術工芸パートナーズクール事業」を実施しています。

小学生は身近な先輩から直接学ぶことで自分の将来に対する希望や関心を持ち、また、高校生は小学生への指導を通して日々の学習に対する自信や誇りを持つなど、校種を越えた連携を通して、「つながる学び」に取り組んでいます。

亀岡市立大井小学校 & 亀岡高等学校



亀岡市立大井小学校3年生66名、4年生61名が、6月5日・19日に亀岡高校普通科美術・工芸専攻1年生30名から指導を受けて、作品を制作しました。

小学3、4年生は、「〇〇な世界」をテーマにし、一人ずつ自分の想像する「〇〇な世界」を制作しました。

両日とも最初に高校生が自己紹介を行った後、高校生が事前に制作した自分の想像する「〇〇な世界」を紹介した後、小学生は製作に取り組みました。



《1日目》4年生の作品制作

制作では、「スポンジローラー」「ビー玉」「ブラシ・あみ」「ストロー」などいろいろな道具を使いました。スポンジローラーで画用紙いっぱい色を広げたり、ビー玉を転がして流星群を表現するなど自分の想像する「〇〇な世界」の創作に夢中になりました。

高校生は、表現の方法に悩んでいる小学生や道具の使い方がわからない小学生に対して、自分の持っている知識や経験を活かし、熱心にアドバイスをしていました。



《2日目》3年生の作品制作

制作では、自分の好きな2色に3種類の水の割合を組み合わせで作った、計6種類の色を使い、線や点で画用紙に表現する技法を用いました。濃い色と薄い色を上手に組み合わせたグラデーションのある線を描くなど工夫をこらして取り組んでいました。

高校生は、小学生に「上手だね！」「この色はどう使う？」などたくさんコミュニケーションを取りながら小学生と一緒に作品に向き合っていました。

今回、小学生は自分が想像する世界を制作する楽しさと難しさを学び、高校生は教えることの楽しさと小学生の悩みに寄り添う難しさを学び、お互いに得ることが多い2日間となりました。

完成した作品の一部は、「第19回京都丹波美術工芸教育展」(10月25日・26日開催)で会場展示を行います。



南丹教育局では、南丹地域の市町教育委員会や幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校の取組を支援するとともに、地域ならではの教育振興に取り組んでいます。

ぜひ、ホームページをご覧ください！！

南丹教育局ホームページ
<http://www.kyoto-be.ne.jp/nantan-k/cms/>

南丹教育局

